

ここちゃんと防災

～ “ここ” から “ちゃんと” そなえよう～



今月のテーマ
「停電」



2021年11月 vol.1

作：川崎裕美（宇部地域理事/防災士）

地震や台風など様々な災害によって起きる恐れのある『停電』。

災害が起こったとき、停電してから復旧するまでどれくらいの時間がかかると思いますか？

東日本大震災では、復旧までにおおむね1週間かかりました。西日本豪雨の際も同様でした。災害の程度にもよりますが、大きな被害が想定されている南海トラフ地震のような地震が起きれば、**復旧までに1週間以上かかってしまう**場合があります。復旧を待つだけでなく、電気の使い方も含めモノと知識を備えておく必要があります。停電している間は、灯りが消えるだけでなく、**身の回りの電化製品が使えなくなります**。夏は暑さ対策、冬は寒さ対策が必要になります。停電の影響で断水する世帯もありますので、断水対策が必要となることもあるでしょう。災害時にどんなことが起きるのか知っておくことも大切です。

停電時に困ること

01 照明がつかない



災害は日中起こるとは限りません。夜間の停電に備えて、灯りの用意も必要です。地震などが原因で停電した場合、家の中も外もどのような状況になっているかわからないため、慌てて暗い中を歩くのは危険です。余震による火災の危険性もあるため、灯や暖をとる目的でろうそくを使うのは極力避けましょう。懐中電灯や充電式LEDランタンなどが役に立ちます。

03 IHや電子レンジ等の調理機器が使えない

IHクッキングヒーターのご家庭は、ガスボンベを使うカセットコンロを非常用に備えておくとうれしいです。

02 冷蔵庫・洗濯機・給湯器が使えない

停電後の冷蔵庫の保冷時間は2～3時間。日頃からの節電の考え方と同じで、①なるべく開閉する回数を減らす。②冷蔵庫にものを詰め込みすぎない。③逆に冷凍庫内はなるべくものを詰めておく。④冷凍庫に入っているものを冷蔵庫の上段に、冷蔵庫のものを下段に入れておくとうれしい。⑤すぐに調理ができる場合は調理しましょう。

04 携帯電話の充電ができない



スマホは大事な情報源です。台風の直撃などが予想される時は、前もってスマホやモバイルバッテリーを充電しておく。液晶画面を暗くするなど、スマホのバッテリー節約テクを確認しておくとうれしいですね。

05 冷暖房器具が使えない

夏

エアコンや扇風機が使えない状況では熱中症に要注意！水に加えて、経口補水液なども常備しておくとうれしいでしょう。足を水につける、濡れたタオルを首に巻くのも効果的。台風などの予測ができる災害の時には、保冷剤やペットボトルの水を凍らせておきましょう。

冬

電源が不要な石油ストーブや、カセットボンベを燃料として使う暖房器具があれば安心です。こまめに換気をして一酸化炭素中毒にならないよう気を付けましょう。毛布や使い捨てカイロ、防寒具などを用意しておきましょう。保温アルミシートは保温性があり軽くてかさばらず携帯用にも便利です。

Point

災害への備えは「特別なこと」として取り組むのではなく、生活の中で当たり前のこととして取り組むことが大切です。